

芦屋市地域包括支援センター 運営協議会 活動状況報告書

平成30年9月20日 高齢介護課



圏域概況①

資料2

	西山手		東山手		精道		潮見	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
人口	20,115		22,933		34,886		18,325	
高齢者数	5,732		6,096		9,122		6,194	
高齢化率	28%		27%		26%		34%	
事業対象者	27		75		76		72	
要支援1	257	24%	293	26%	364	22%	315	29%
要支援2	159	15%	121	11%	212	13%	138	13%
要介護1	203	19%	214	19%	373	22%	220	20%
要介護2	113	11%	119	11%	173	10%	120	11%
要介護3	134	13%	130	12%	203	12%	101	9%
要介護4	87	8%	124	11%	161	10%	97	9%
要介護5	99	9%	114	10%	179	11%	89	8%
合計	1,052	100%	1,115	100%	1,665	100%	1,080	100%

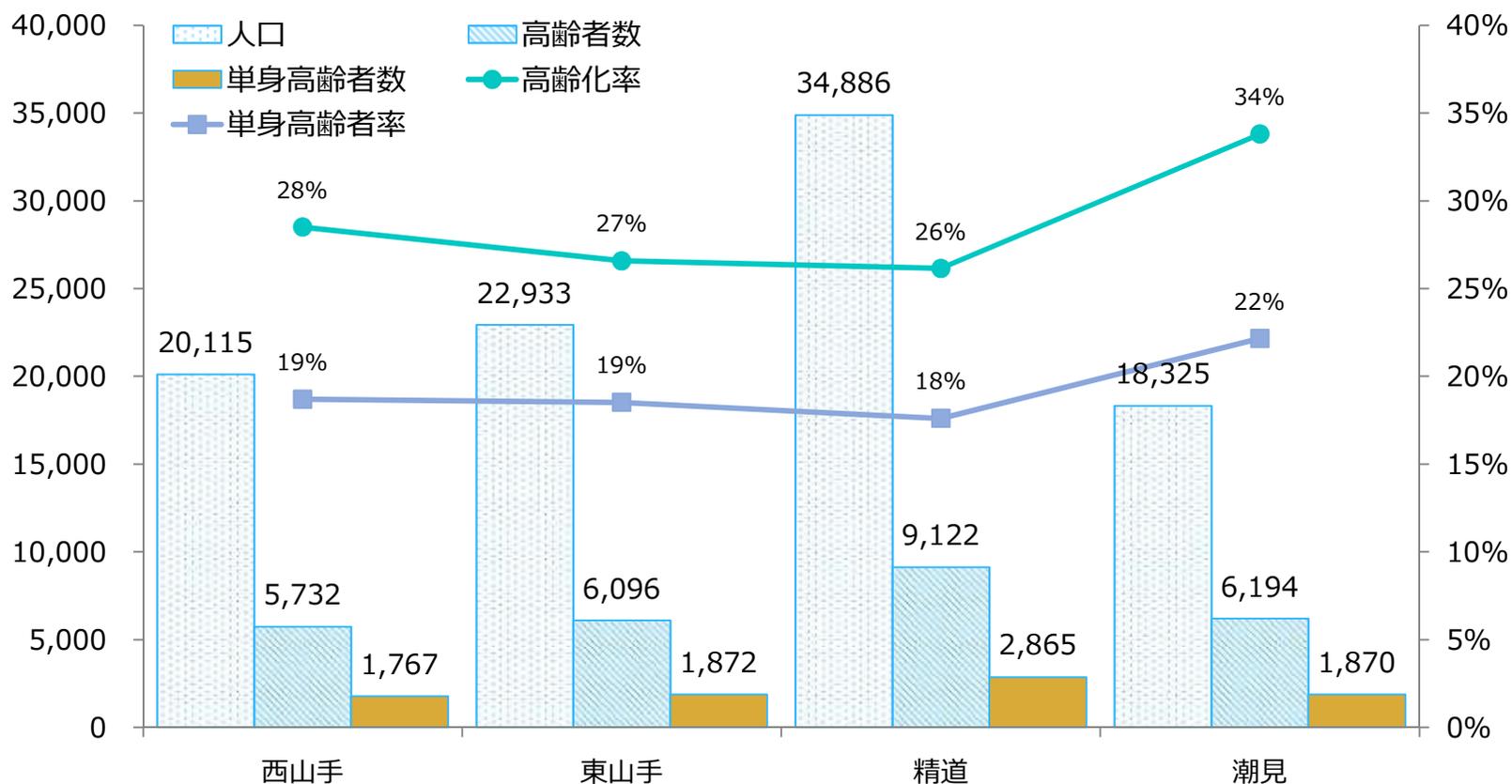


サービス	施設種類	西山手		東山手		精道		潮見	
		事業所	定員	事業所	定員	事業所	定員	事業所	定員
入居型サービス	介護老人福祉施設	0	0	1	50	1	80	2	160
	地域密着型介護老人福祉施設	0	0	1	29	1	29	1	29
	介護老人保健施設	0	0	0	0	1	35	3	240
	有料老人ホーム（特定施設）	1	70	1	29	3	115	3	141
	有料老人ホーム（特定施設以外）	0	0	1	11	0	0	0	0
	認知症対応型共同生活介護	1	18	2	36	3	63	3	54
地域密着型サービス	サービス付き高齢者住宅	0	0	0	0	0	0	1	36
	小規模多機能型居宅介護	0	0	1	25	2	40	1	25
	看護小規模多機能型居宅介護	0	0	0	0	0	0	0	0
	夜間対応型訪問介護	0	0	0	0	0	0	0	0
	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	1	0	0	0	0	0	0	0
	認知症対応型通所介護	1	22	1	12	1	10	1	12
居宅サービス	通所介護（小規模デイサービス）	4	0	2	20	8	85	2	20
	居宅介護支援	9	0	3	0	10	0	7	0
	訪問介護	11	0	6	0	19	0	5	0
	通所介護・リハビリテーション	5	0	2	50	2	60	5	165
	短期入所生活介護・療養介護	0	0	1	6	1	0	5	61
医療機関	訪問看護・リハビリテーション	1	0	2	0	4	0	3	0
	病院	1	0	1	199	0	0	1	83
	有床診療所	2	24	0	0	0	0	0	0
	診療所	42	0	13	0	48	0	4	0
	（再掲）訪問診療を実施している診療所	5	0	5	0	13	0	3	0
	歯科診療所	26	0	8	0	28	0	4	0
	（再掲）訪問歯科診療を実施している診療所	1	0	1	0	12	0	3	0
	薬局	16	0	4	0	18	0	5	0
（再掲）かかりつけ薬剤師・薬局	4	0	2	0	6	0	0	0	



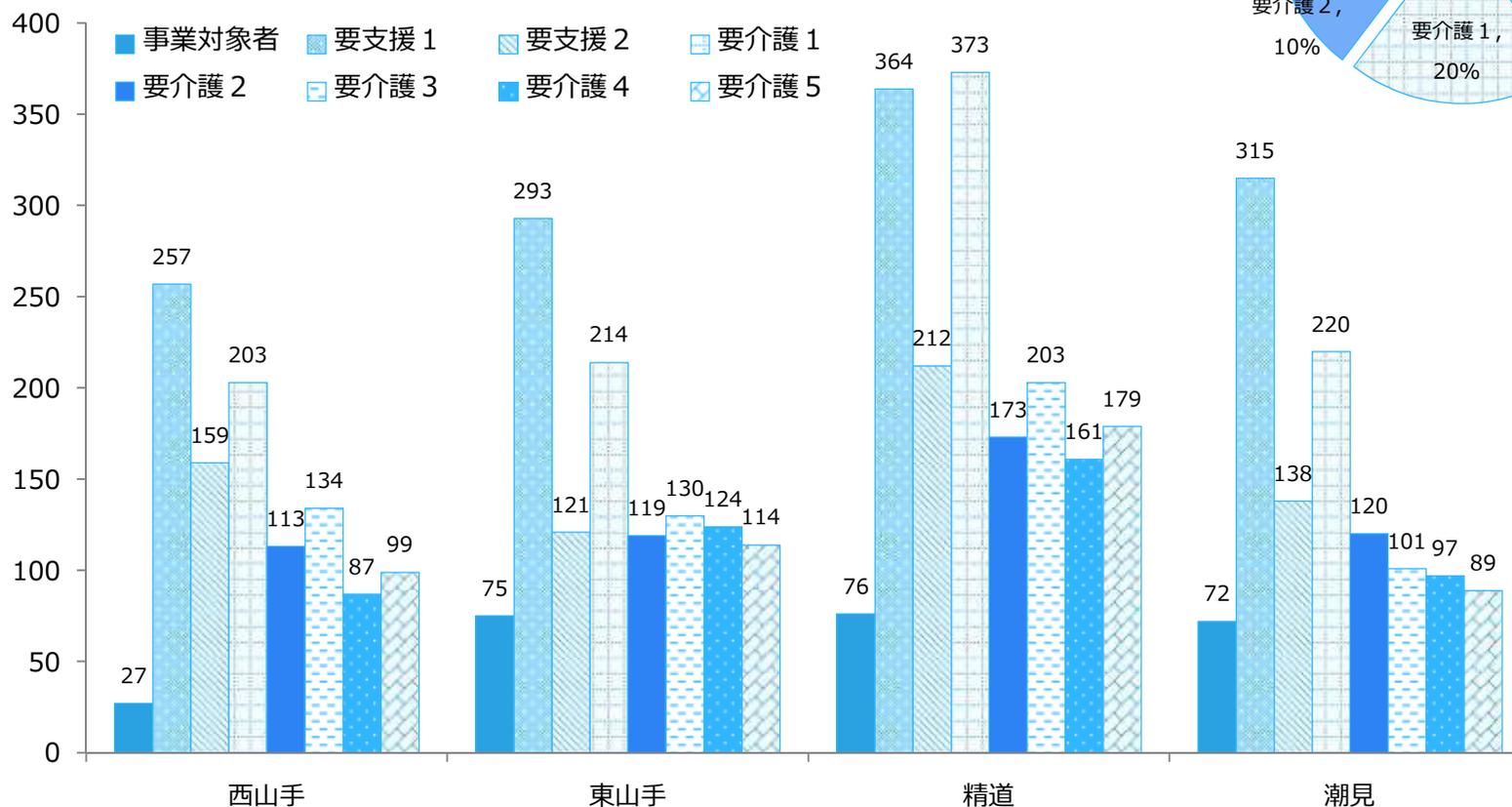
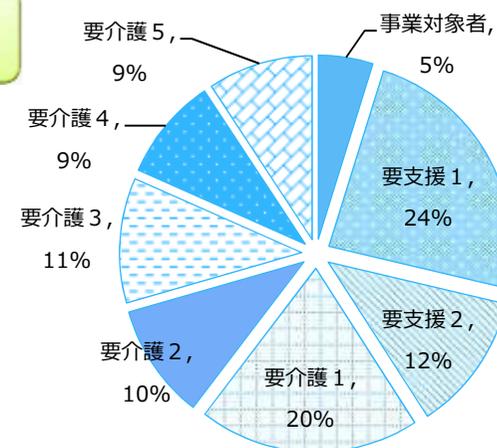
人口及び高齢者数等

- 人口及び高齢者は精道圏域が最も多いが、割合で見ると精道圏域が最も低く、潮見圏域が最も高い。次いで西山手圏域が高い。
- 単身高齢者で見ても精道圏域が最も多いが、割合で見ると、精道圏域が最も低く、潮見圏域が最も高い。次いで西山手圏域が高い。



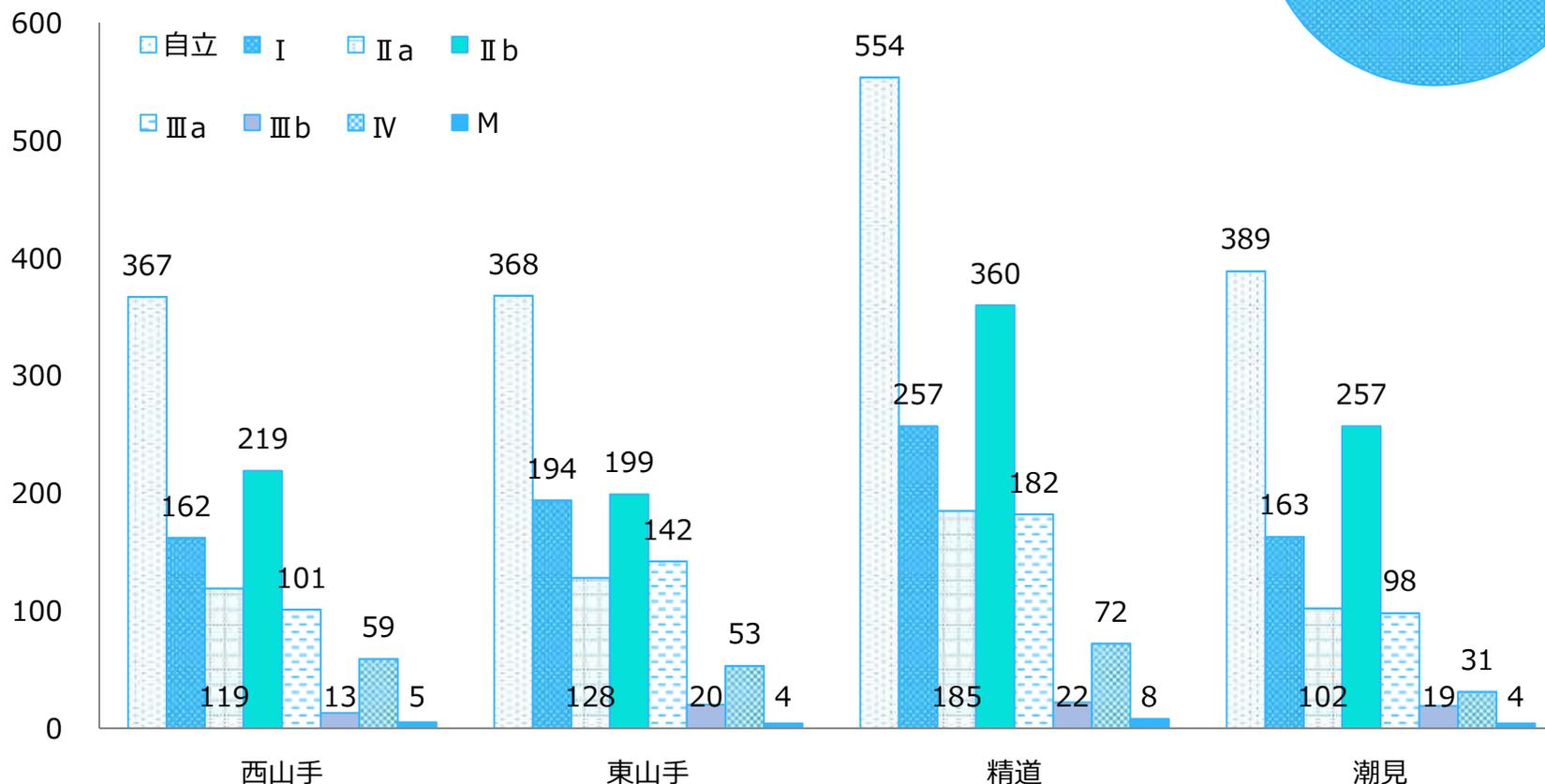
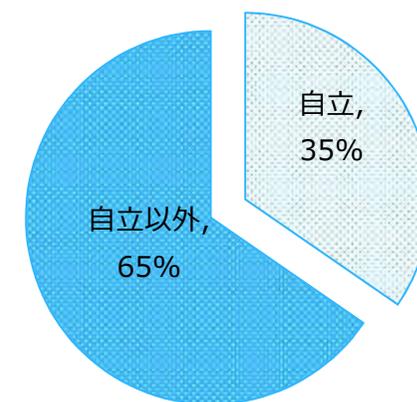
要介護認定者の種別毎の人数

- 西山手, 東山手, 潮見圏域は要支援1の方が最も多いが, 精道圏域のみ要介護1の方が多い。



認知症自立度の種別毎の人数

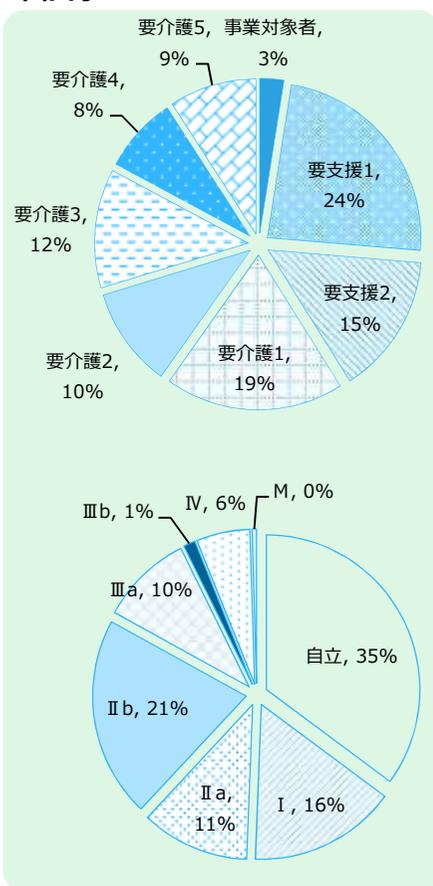
- 各圏域とも自立の方が最も多いが、自立以外の方との割合で見ると自立以外の方の割合が多い。
- 各圏域共にⅡb, Iが多い。



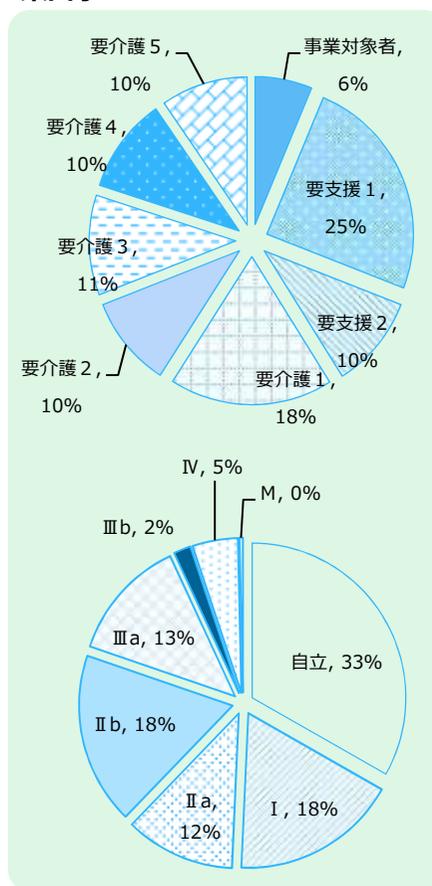
要介護認定者割合及び認知症自立度割合

- 各圏域共に要介護認定割合は同程度であるが、精道圏域のみ要支援1の割合が最も低い。
- 認知症自立度に関しても各圏域共に同程度であるが、精道圏域に自立の割合が最も多い。

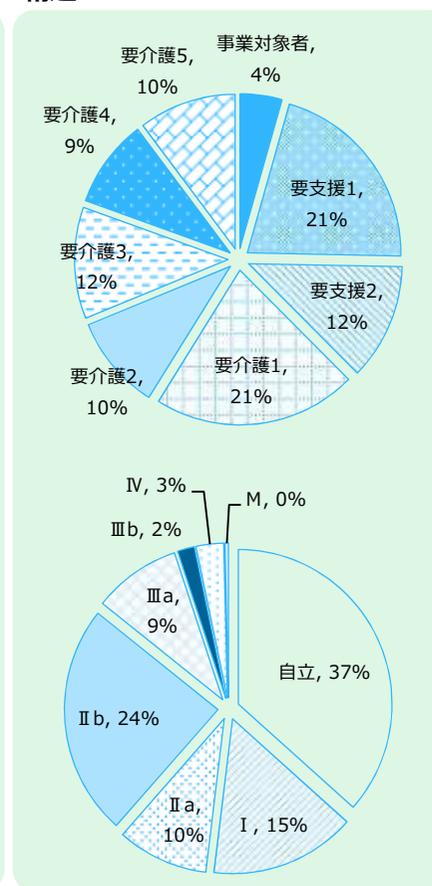
西山手



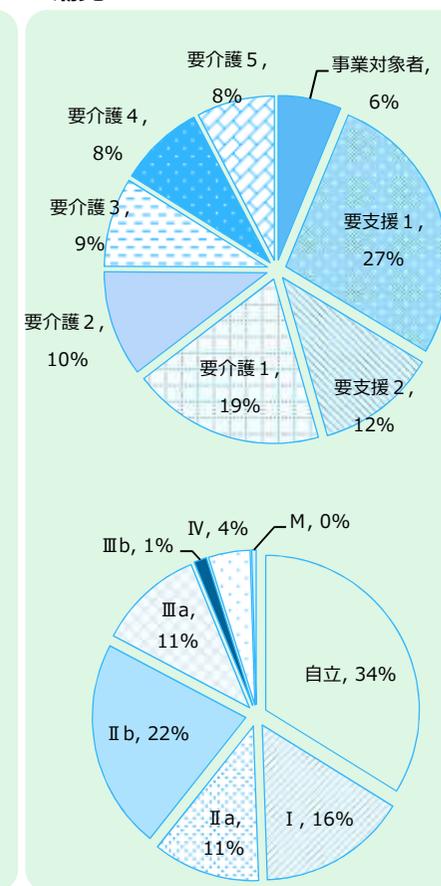
東山手



精道

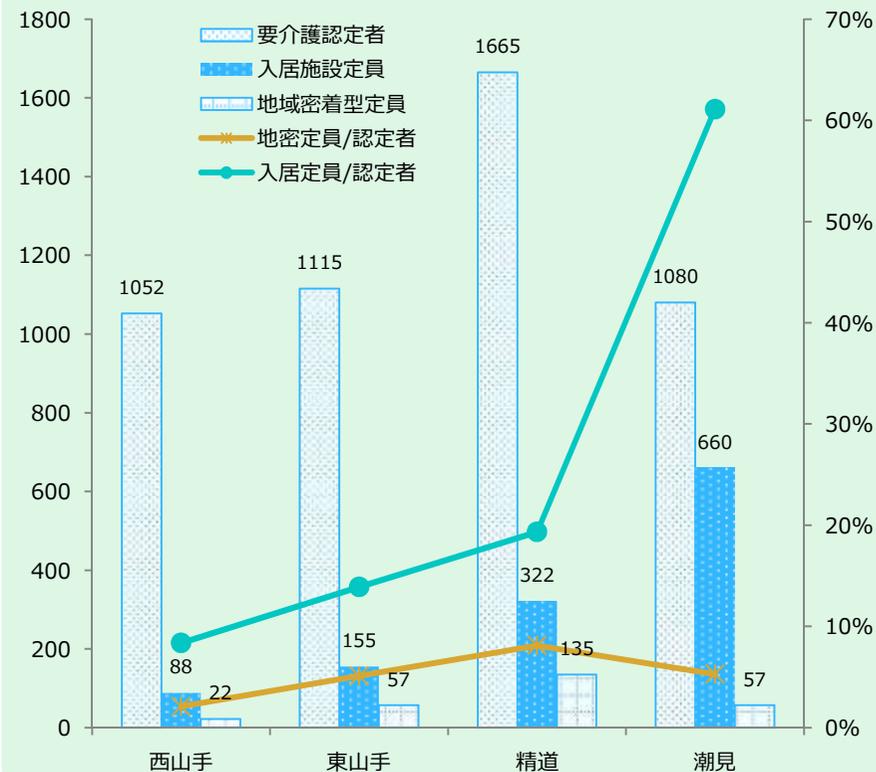
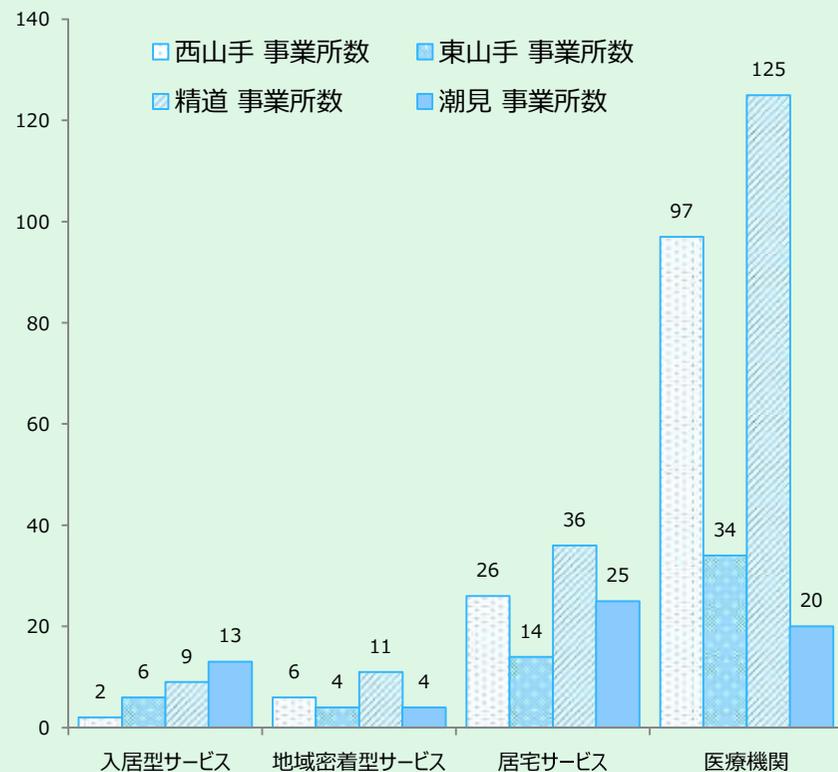


潮見



各事業所数及び介護認定者に対する施設定員

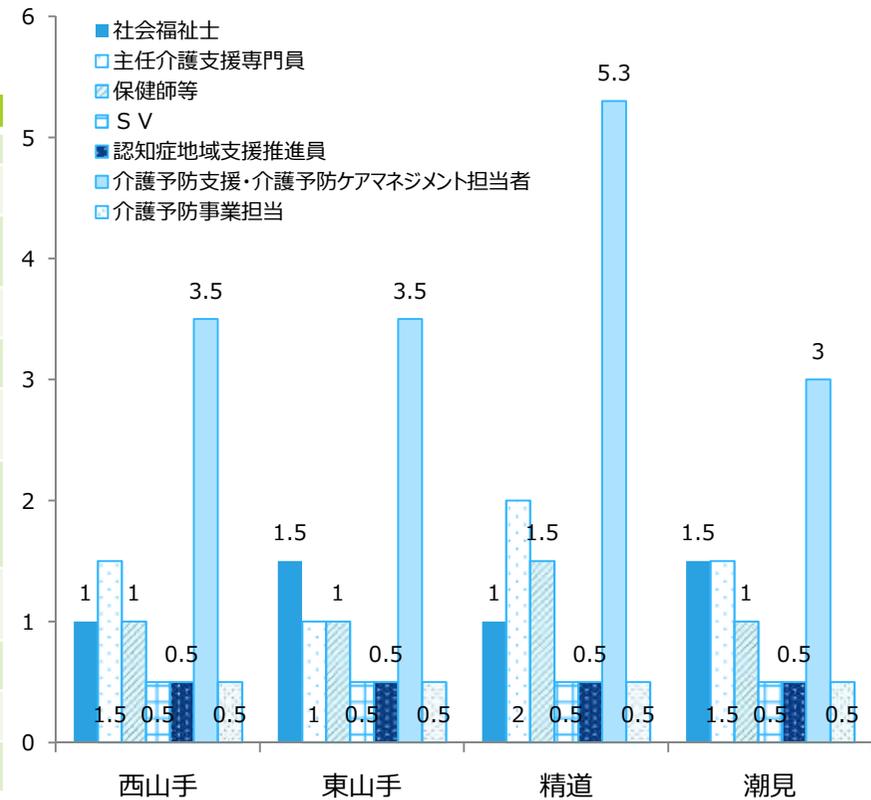
- ・ 精道圏域内に各事業所が多く、医療機関については西山手圏域にも多くある。
- ・ 要介護認定者に対して、潮見圏域内の施設が多いため、定員/認定者割合が60%を超過している。
- ・ 西山手圏域が事業所数及び定員が最も少ない。



各高齢者生活支援センターの人員体制

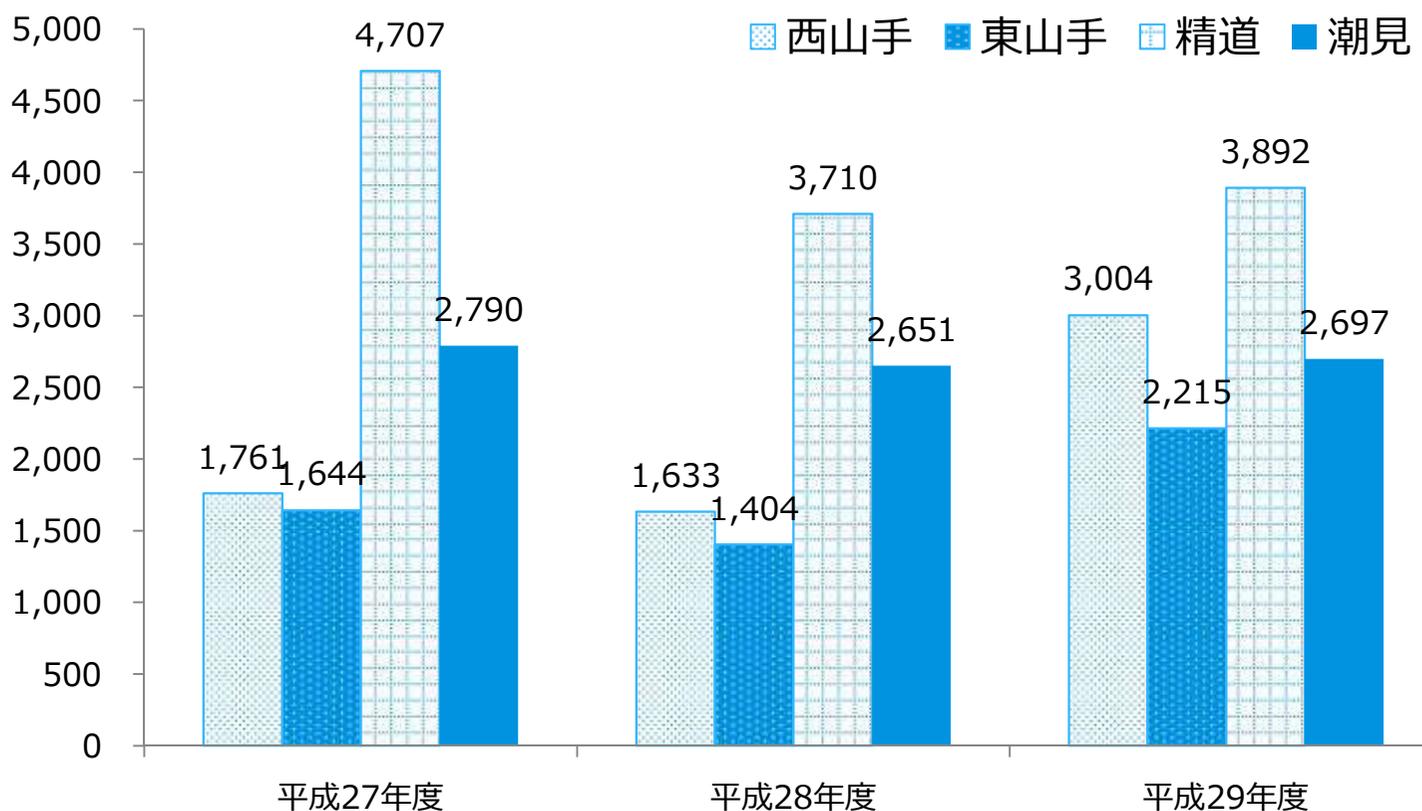
- ・ 精道圏域が人口及び高齢者が最も多いため、人員を多く配置している
- ・ 各圏域を取りまとめとして、基幹を精道圏域に配置している。
- ・ 平成30年度より介護予防事業担当者を配置している。

	西山手		東山手		精道		潮見	
	専任	兼任	専任	兼任	専任	兼任	専任	兼任
社会福祉士	1	0	1	0.5	1	0	1	0.5
主任介護支援専門員	1	0.5	1	0	2	0	1	0.5
保健師等	1	0	1	0	1	0.5	1	0
S V	0	0.5	0	0.5	0	0.5	0	0.5
認知症地域支援推進員	0	0.5	0	0.5	0	0.5	0	0.5
介護予防支援・介護予防ケアマネジメント担当者	3	0.5	2	1.5	4.8	0.5	3	0
介護予防事業担当	0	0.5	0	0.5	0	0.5	0	0.5
基幹	0	0	0	0	0	2	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	6	2.5	5	3.5	8.8	4.5	6	2.5



1-1 相談総件数

- 山手圏域の相談件数は著しく増加しているが、精道及び潮見圏域については横ばい傾向である。

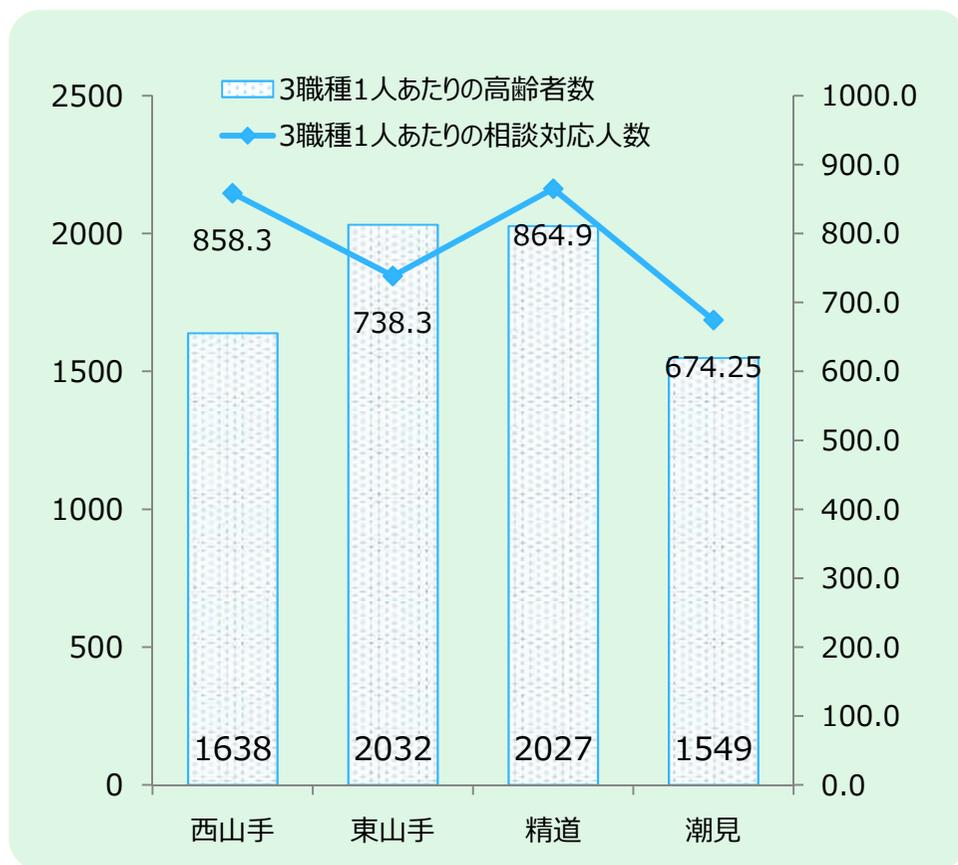


1 高齢者の総合相談について②

資料2

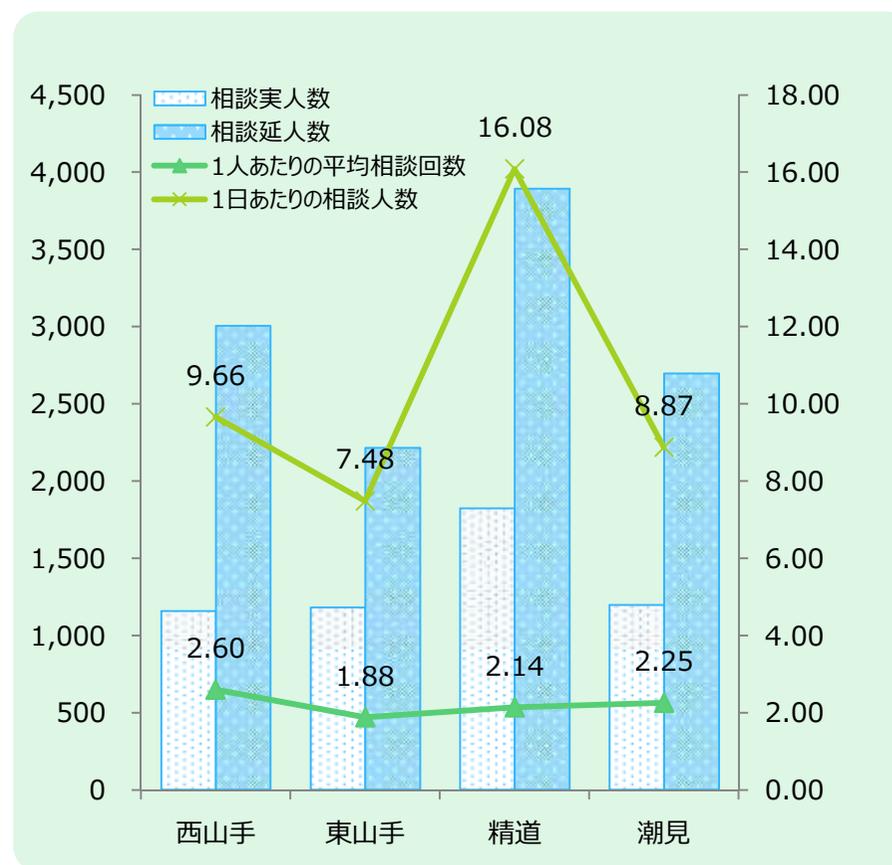
1-2 3職種当たりの相談件数等

- 西山手圏域の相談件数について、3職種1人あたりの高齢者数に比べて1人あたりの相談対応人数が多い。



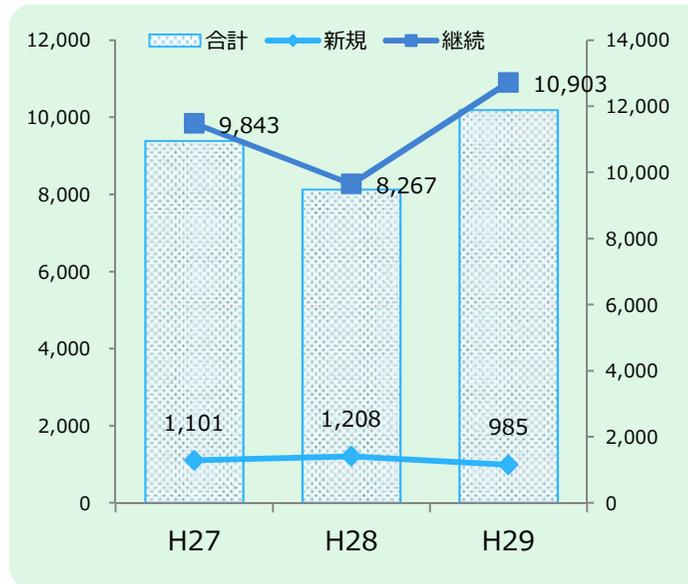
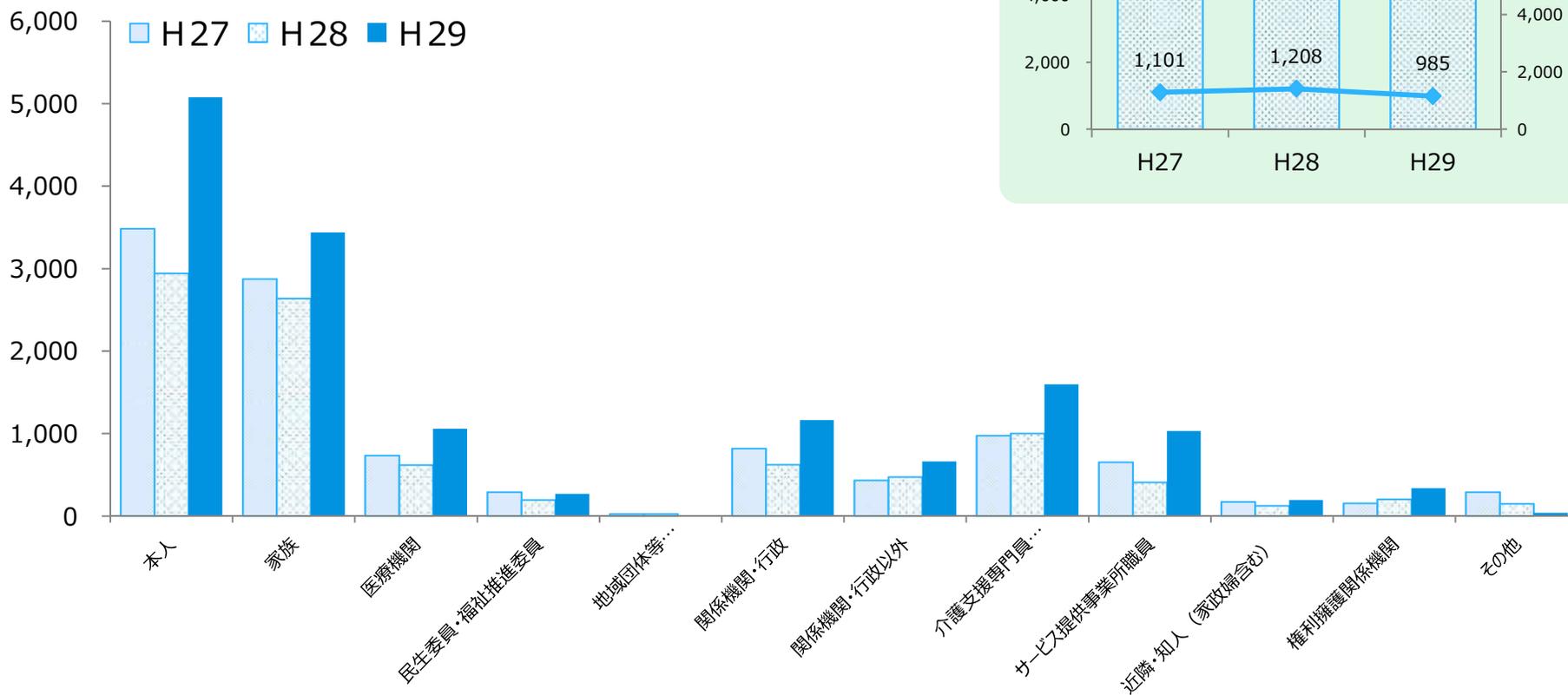
1-3 1日当たりの相談件数等

- 精道圏域の1日あたりの相談人数が著しく多い。
- 1日当たりの平均相談回数は西山手圏域が多い。



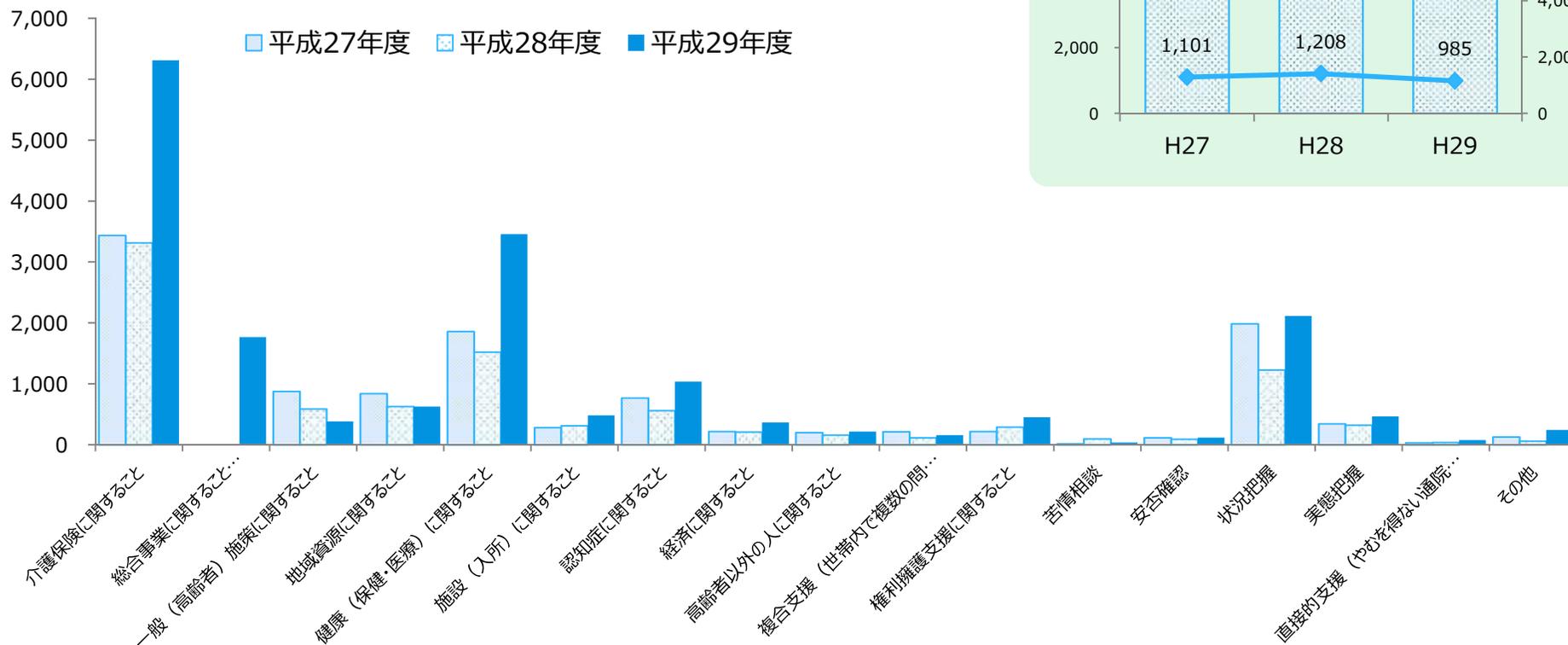
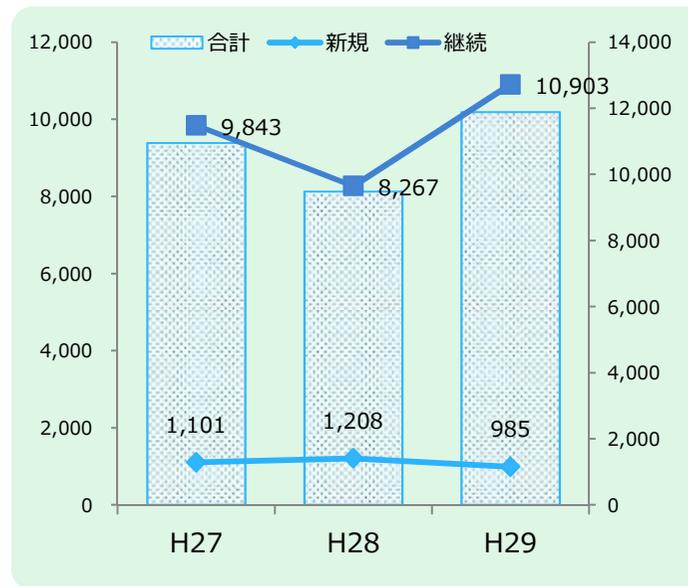
1-4 相談者

- すべての相談者が増加傾向であるが、特に本人、家族医療機関、医療機関、行政、介護支援専門員、サービス提供事業所の相談件数が増加している。



1-5 相談内容

- 介護保険，健康，施設，認知症，権利擁護支援，状況把握，実態把握について増加傾向である。
- 平成29年度より総合事業が開始され，相談項目が増加したため，総相談件数が増加している。

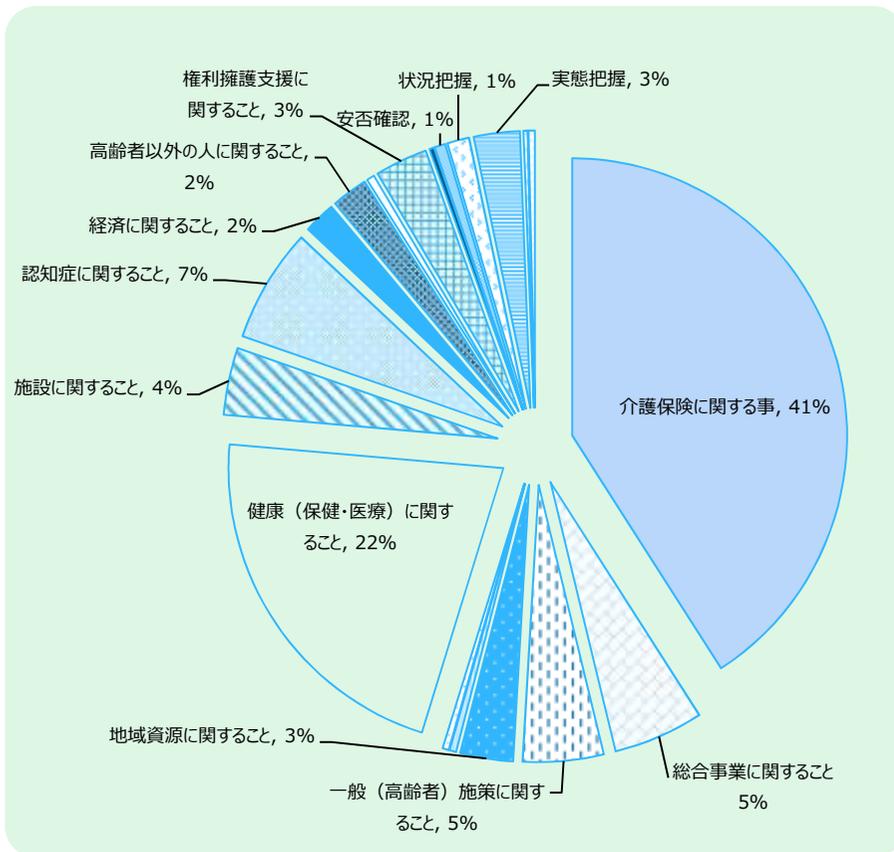


1 高齢者の総合相談について⑤

資料2

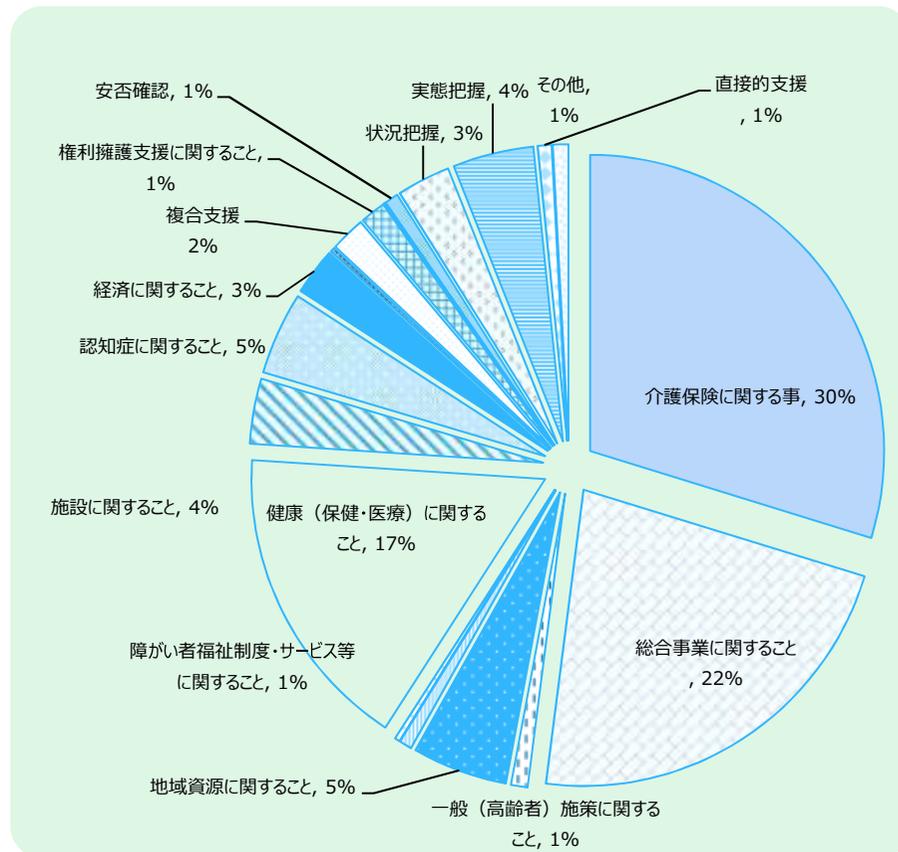
1-6 西山手 相談内容

- 介護保険，健康（保健・医療），認知症，総合事業，一般（高齢者）施策に関する相談が多い



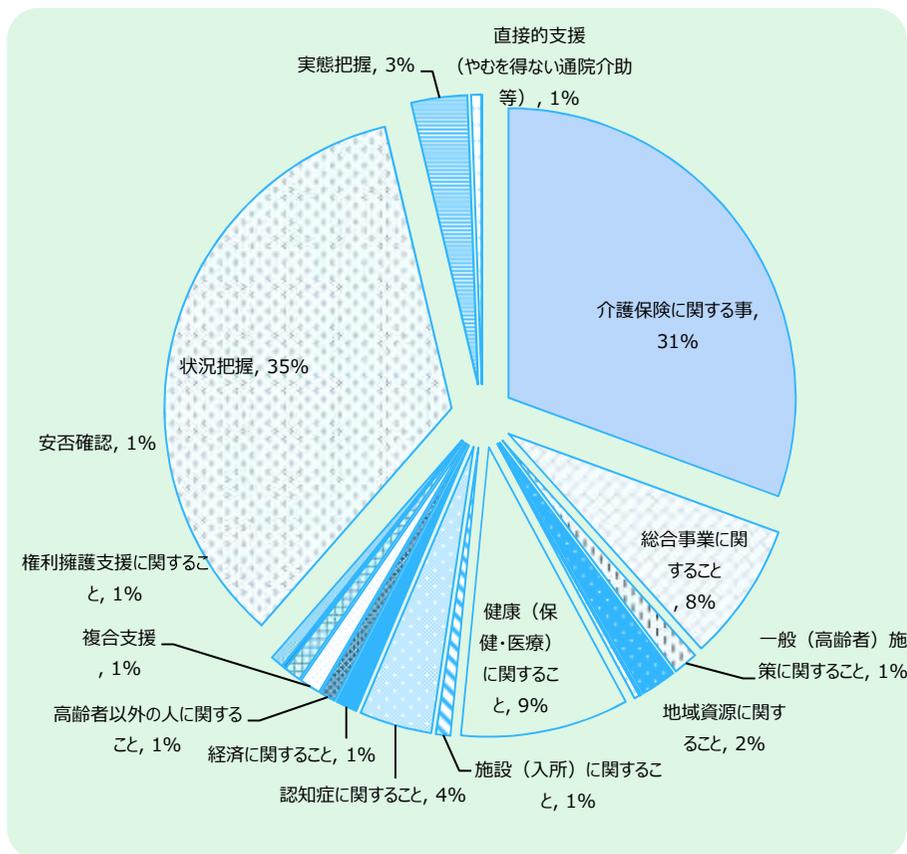
1-7 東山手 相談内容

- 介護保険，総合事業，健康（保健・医療），地域資源，認知症に関する相談が多い



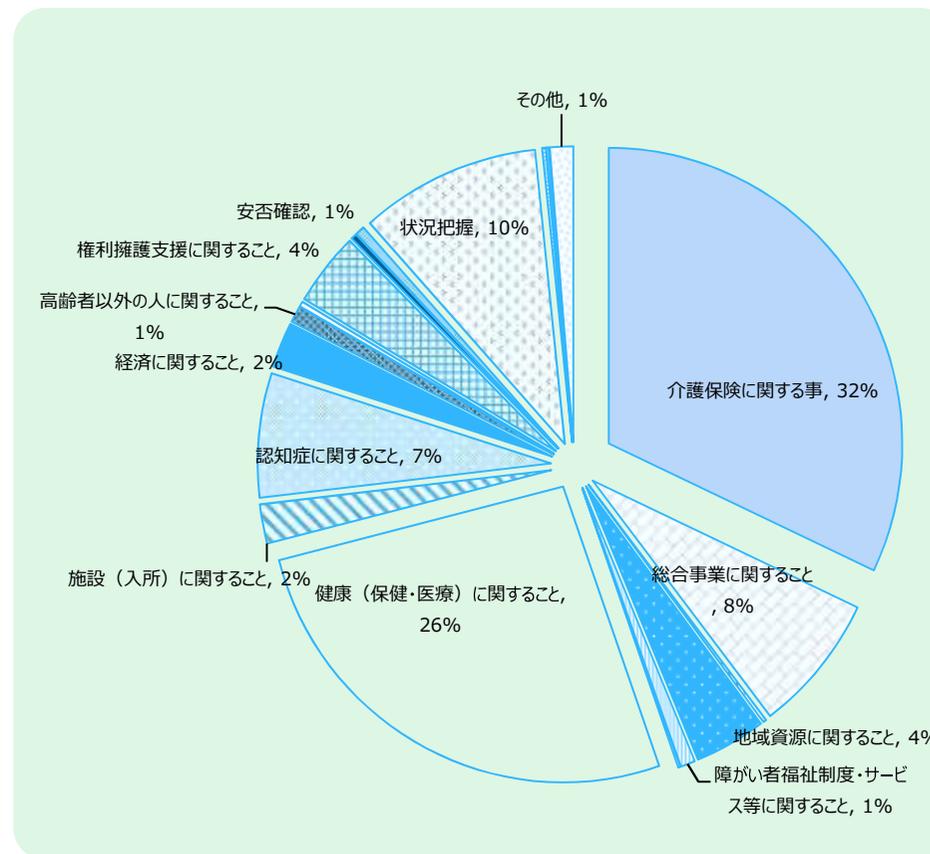
1-8 精道 相談内容

- ・ 状況把握, 介護保険, 健康 (保健・医療), 総合事業, 認知症に関する相談が多い



1-9 潮見 相談内容

- ・ 介護保険, 健康 (保健・医療), 状況把握, 総合事業, 認知症に関する相談が多い



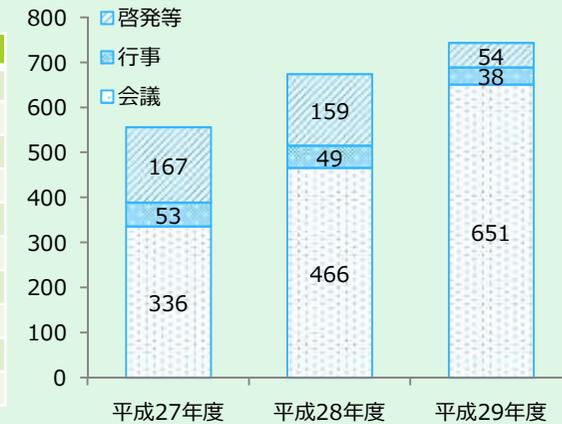
2 包括的・継続的ケアマネジメント①

資料2

2-1 フォーマル・インフォーマル会議等

- ・ フォーマル・インフォーマル共に会議は増加傾向である。
- ・ フォーマル・インフォーマル共に行事、啓発等は減少傾向である。

		平成27年度	平成28年度	平成29年度
フォーマル	会議	268	412	623
	行事	9	9	7
	啓発等	126	114	38
インフォーマル	会議	68	54	28
	行事	44	40	31
	啓発等	41	45	16
合計	会議	336	466	651
	行事	53	49	38
	啓発等	167	159	54
総合計		556	674	743



2-2 圏域別フォーマル・インフォーマル会議等

- ・ フォーマルは増加傾向である。
- ・ インフォーマルは減少傾向である。
- ・ 全体的に東山手・西山手圏域は増加しているが、精道・潮見圏域は減少している。

		平成27年度	平成28年度	平成29年度
フォーマル	西山手	37	51	116
	東山手	81	96	181
	精道	67	120	93
	潮見	218	268	278
インフォーマル	西山手	21	15	9
	東山手	44	58	33
	精道	9	1	2
	潮見	79	65	31
合計	西山手	58	66	125
	東山手	125	154	214
	精道	76	121	95
	潮見	297	333	309

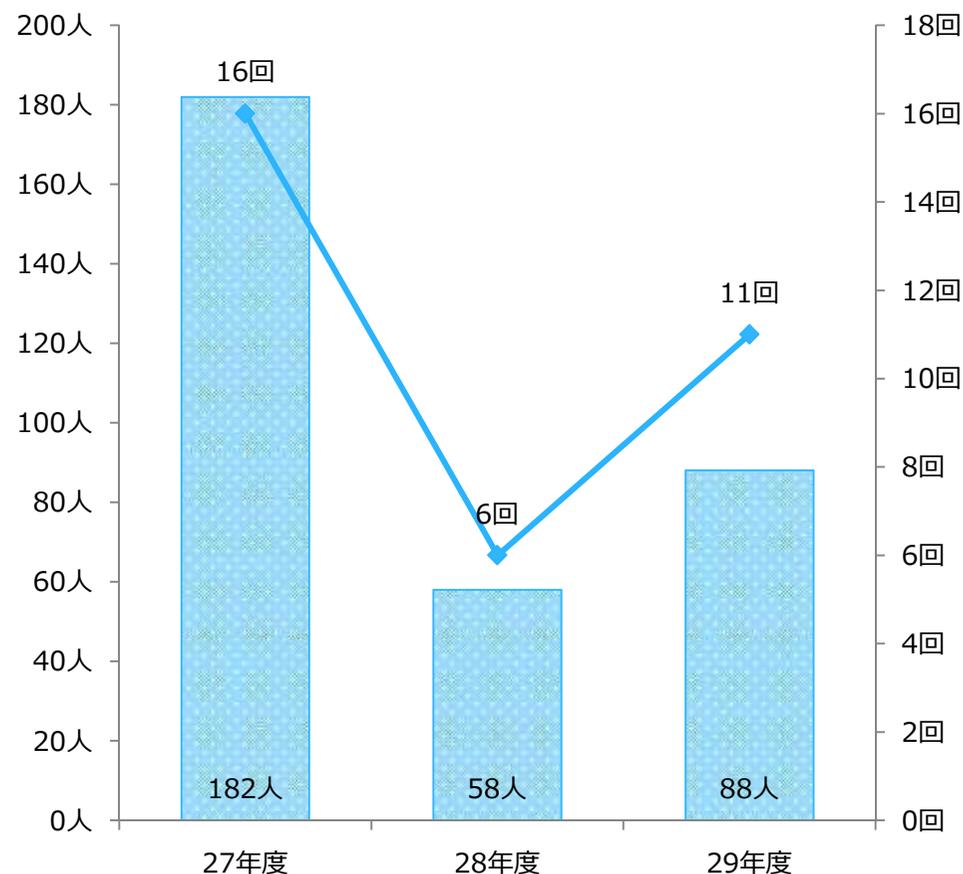


2-3 地域ケア会議

- 個別支援を取り扱ったものが11件
- 地域課題を取り扱ったものが1件

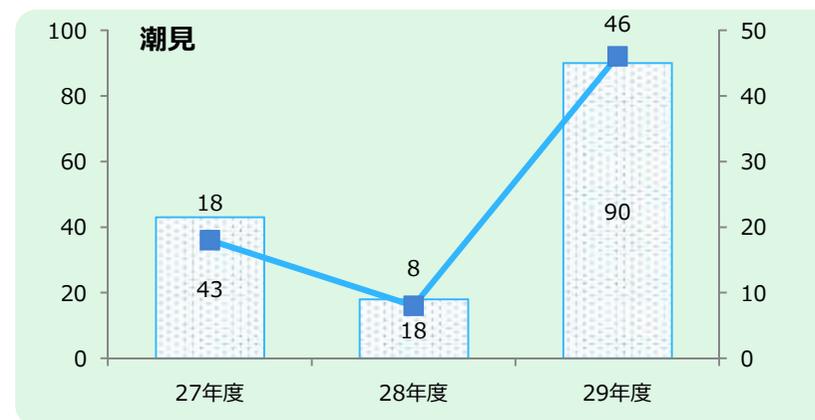
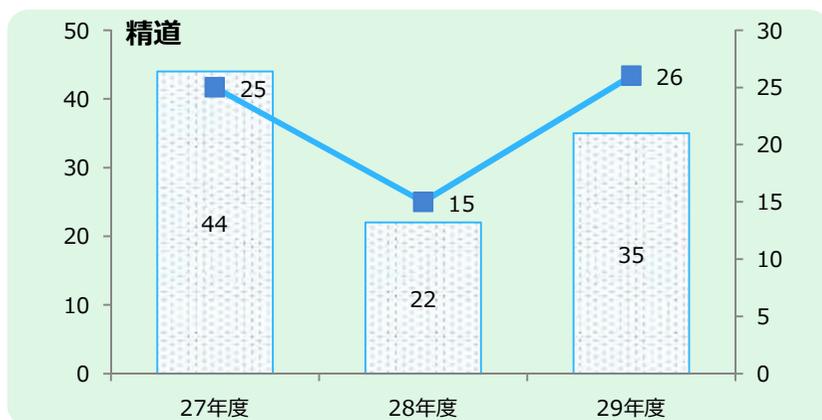
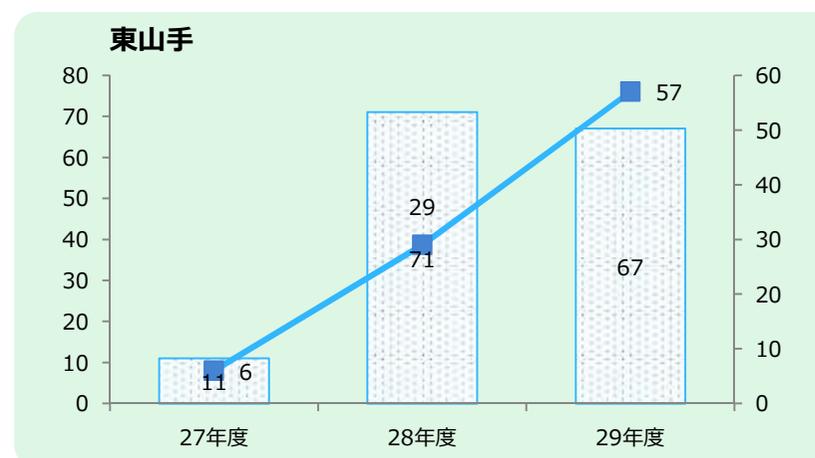
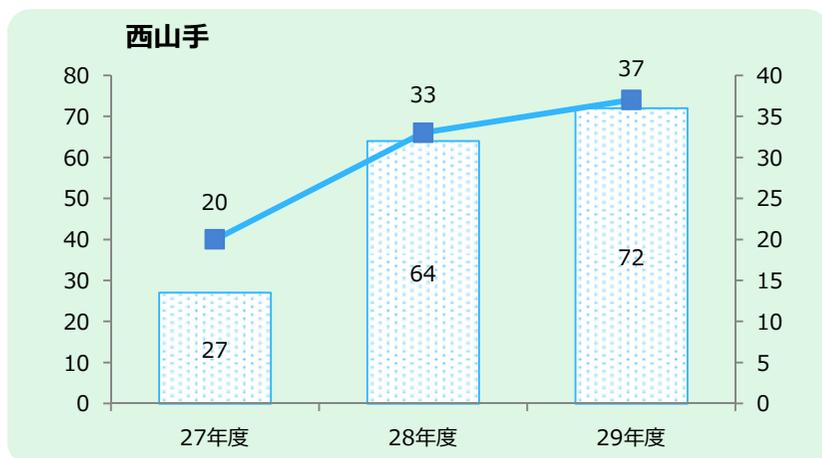
個別支援のケースでは、認知症による方の対応方法等について、民生委員や自治会の方等に参加していただき検討している。

- 西山手圏域 3回 延参加者16人
- 東山手圏域 2回 延参加者18人
(内1回が地域課題に結びついたもの)
- 精道圏域 2回 延参加者23人
- 潮見圏域 3回 延参加者31人



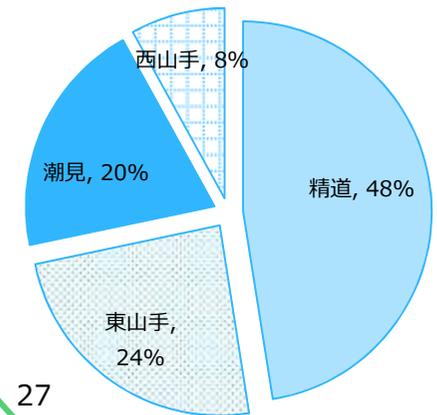
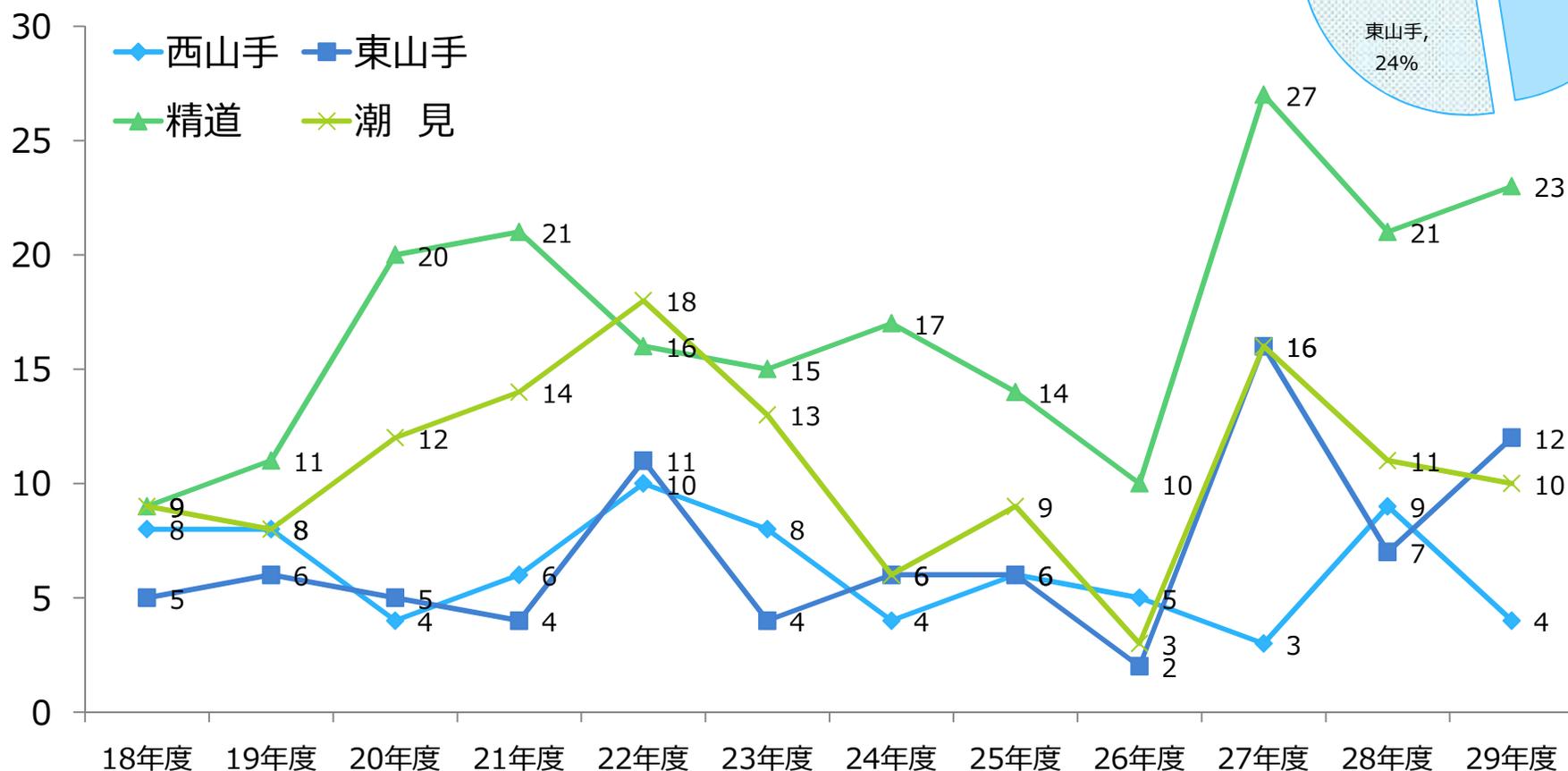
2-4 ケアマネジメント支援（居宅支援事業所相談支援）

- 各圏域共に居宅支援事業所からの相談が増加している。



各高齢者生活支援センターへの通報件数について

- 精道圏域については平均して多く、平成27年度より東山手圏域の件数が増加傾向である。



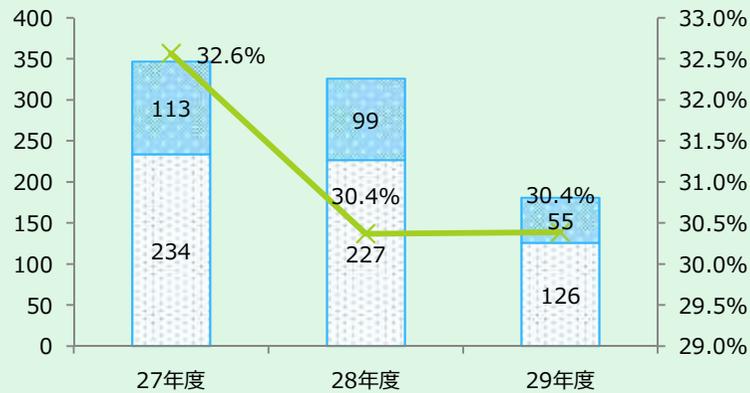
4 介護予防ケアマネジメントについて①

資料2

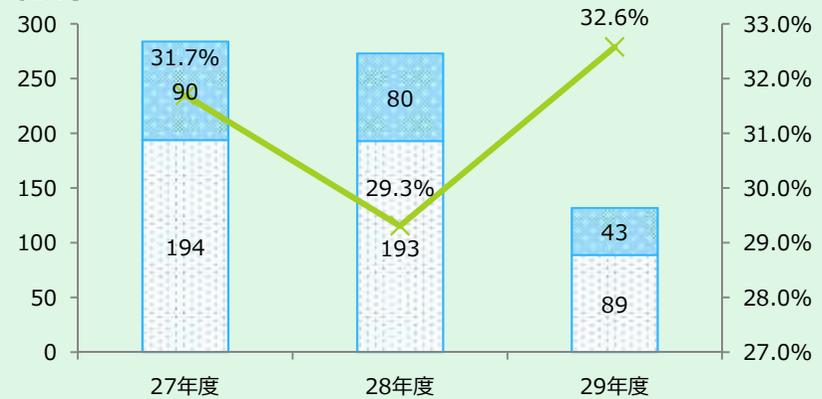
4-1 介護予防支援実施状況（各圏域別プラン作成及び居支への委託件数と割合）

- 平成29年度に大きく下がった原因は、総合事業が開始されたことによる。
- 潮見圏域が居支へのプラン作成の委託率が最も高く、唯一50%を超過している。

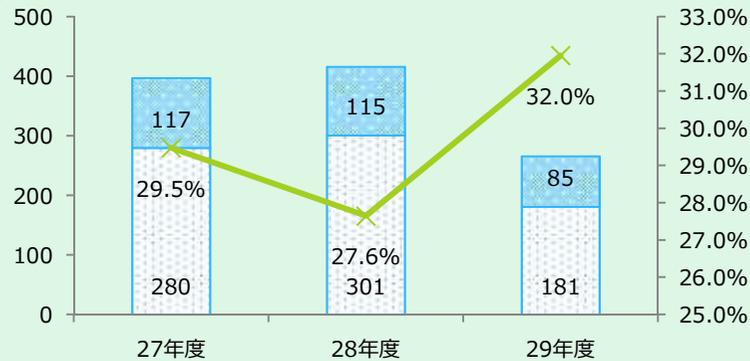
西山手



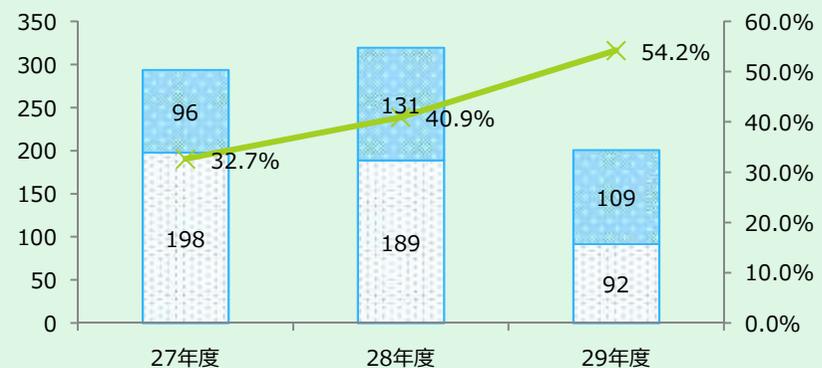
東山手



精道



潮見



4-2 総合事業対象件数

- 総合事業件数は高齢者人口の多い，精道圏域が最も多い。次いで潮見圏域が多い。
- 居支への委託率は，潮見圏域が最も多く，東山手圏域が最も少ない。

29年度	介護予防ケアマネジメントの作成			
	包括作成	居支へ委託	合計	居支への委託率
西山手	112	38	150	25%
東山手	141	27	168	16%
精道	173	39	212	18%
潮見	131	64	195	33%
合計	557	168	725	23%

